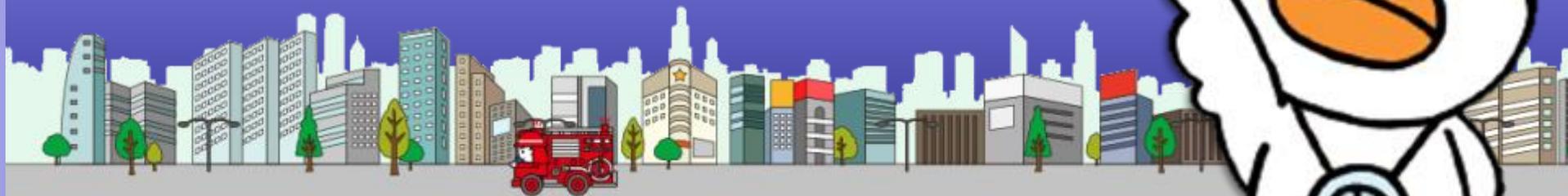


消防機関へ通報する火災報知設備 火災通報装置



一般社団法人日本火災報知機工業会

システム企画委員会 委員長 上田 毅

1.火災通報装置とは

2.火災通報装置の設置を必要とする防火対象物

3.火災通報装置に係る最近の主な告示・通知

■ 火災通報装置の基準

■ 火災通報装置に係る主な通知

火災が発生した場合において、手動起動装置を操作すること又は自動火災報知設備の感知器の作動と連動することにより、電話回線を使用して消防機関を呼び出し、蓄積音声情報により通報するとともに、通話を行うことができる装置をいう。

※ 告示基準より

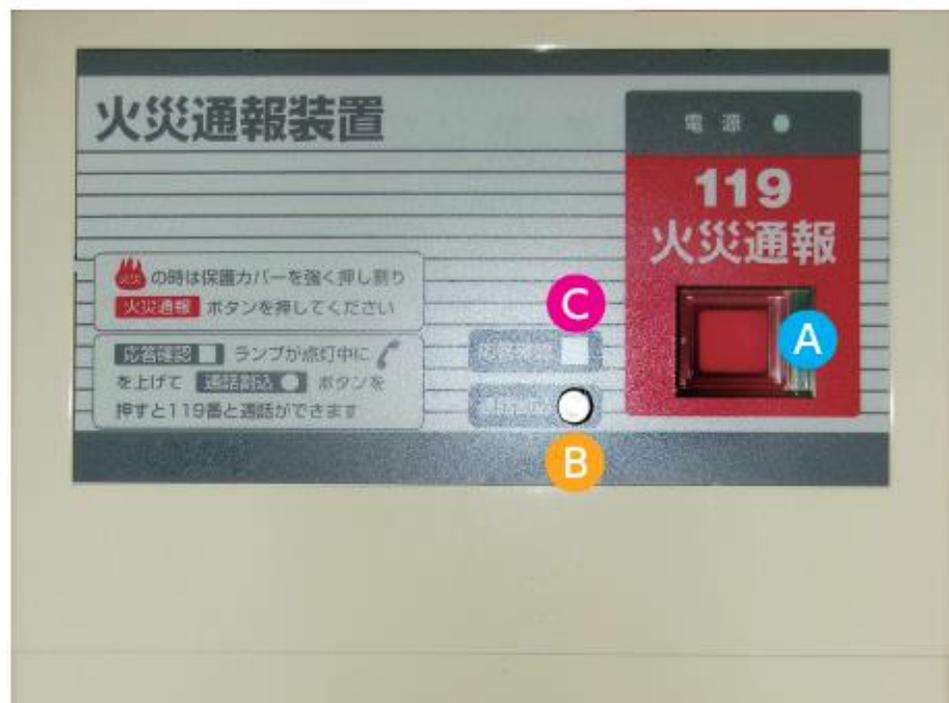


火災通報装置の外観例



専用電話機の外観例

■ 各部の働き（外観は一例）



自動火災報知設備と接続している場合は、感知器または受信機等の火災信号で通報されます。



火災通報ボタン

ボタンを押すと119番に自動通報



通話割込ボタン

メッセージ再生中に受話器をとってこのボタンを押すと消防機関と通話可能



応答確認ランプ

点滅:ダイヤル中 点灯:応答中

※ 一般財団法人 日本消防設備安全センター資料より抜粋

■ 使用方法の例

火災時には、消防機関に早く通報することが重要です。

使用方法

しっかりと
確認して
おきましょう

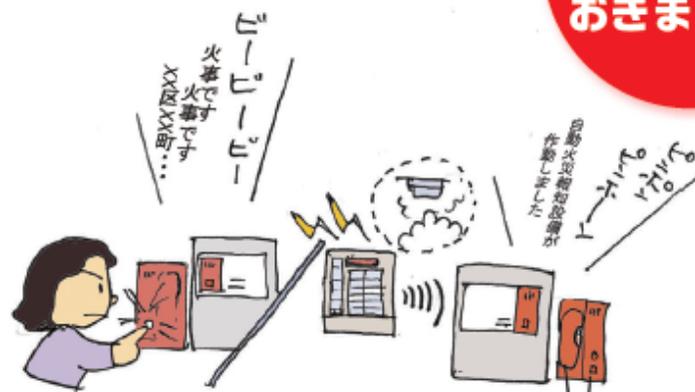
① 火災発見! 火災通報ボタンを押す

手動型

事前に登録した情報を電話回線により消防機関に通報します。

連動型

- 自動火災報知設備の作動とともに、消防機関へメッセージを発信します。
- 火災確認後に火災通報ボタンを押してください。



② 消防からの呼び返し

消防機関からの呼び返し(コールバック)があったら受話器をとって、火災状況を伝えます。

初期消火、人命救助が優先です。
呼び返しには支障のない範囲で応答してください。



※ 一般財団法人 日本消防設備安全センター資料より抜粋

延べ面積に
関係なく
設置が必要



火災時に自力避難困難な方々が
主として入所する施設
病院、有床診療所及び有床助産所、
グループホーム、ショートステイ、
特別養護老人ホームなど、
令別表第1(6)項イ(1)～(3)、
(6)項ロに規定される建物。

延べ面積
500m²以上は
設置が必要



●旅館 ●ホテル
●宿泊施設



●病院 ●助産所



●デイサービス
●小規模多機能型
居宅介護施設
●軽費老人ホームなど

- 平成28年2月24日 総務省令第10号
「消防法施行規則の一部を改正する省令」
- 平成28年2月24日 消防庁告示第6号
「火災通報装置の基準（改正）」
- 平成28年2月24日 消防予第49号
「消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の公布について（通知）」
- 平成28年8月3日 消防予第240号
「消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の運用上の留意事項について（通知）」

①における主な改正点

1. 火災通報装置の電話回線との接続等に関する基準の改正

- ①機能に支障を生ずるおそれのない電話回線を使用すること
(次ページにて詳細説明)
- ②必要に応じて回線終端装置等を媒介することにより適切に使用すること
他の機器の影響により機能に支障がないよう規定

2. 消防機関からの呼び返し信号を確実に受信するための基準の改正

- ①音声情報送出後の待機時間を5秒→10秒に延長
- ②通話切れの場合の呼び返し信号の待機時間を10秒間とること

3. 確実な電源供給のための基準の改正 (次ページ以降にて詳細説明)

- ①IP電話を使用する場合の回線終端装置等の予備電源対応
- ②常用電源使用時には分電盤と回線終端装置等の間に、開閉器を
設けない等
- ③分電盤の開閉器に火災通報装置に係る回線終端装置等用の旨の
表示記載等

火災通報装置（「消防機関へ通報する火災報知設備」）が接続されている電話回線を、**IP電話回線（NTTのアナログ回線又はNTTのISDN回線以外のインターネットプロトコル電話回線等）へ変更した場合、火災通報装置の機能が確保できず、119番通報が正常に行われなくなることがあります。**

変更する場合、消防署へ事前に相談するとともに届出が必要となります。

● IP 電話回線について

IP電話回線に接続可能な火災通報装置には「平成28年4月改正告示適合品」と表示されています。

平成28年4月改正告示前の装置はIP電話回線に対応していません。

● 使用可能なIP電話回線の確認ポイント

火災通報装置の電話回線にIP電話回線を使いたいが、使用可能なIP電話回線が分からない場合、通信キャリア(電気通信事業者)へ以下の項目を全て確認してください。



① IP 電話の種類は？

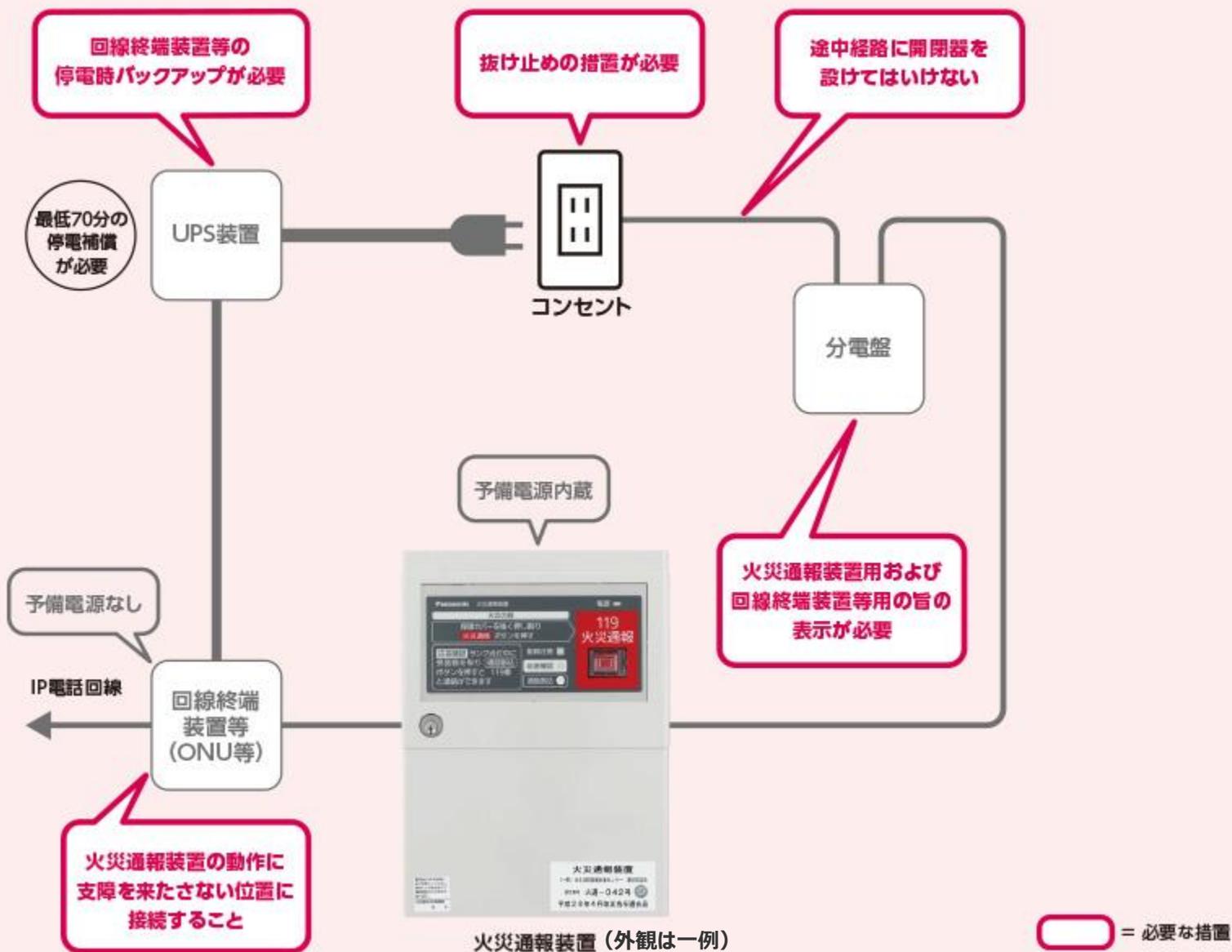
POINT ▶ 電話番号が050で始まるIP電話回線は使用できません。

② 消防機関に119番通報が発信できるか？

POINT ▶ できない場合は使用できません。

③ 火災通報装置で119番通報した後、消防機関からの逆信を受信できるか？

POINT ▶ 逆信を受信できない場合は使用できません。



- 令和元年12月23日 消防予第274号 消防情第138号
「NTT固定電話のIP網移行に伴い発生する事象への対応について
(通知)」
- 令和5年12月27日 事務連絡(消防庁予防課)
「NTT固定電話のIP網移行に伴う火災通報装置に係る留意事項に
ついて」

(1) 通知の概要

N T T 東日本及び N T T 西日本が提供する固定電話サービスが I P 網へ移行することに伴い、一部の火災通報装置において、**消防機関からの折り返しの連絡が正常に受けられなくなる事象が発生することが判明した。**

これを受け、N T T において、火災通報装置を設置している防火対象物の関係者に対して、当該事象の内容を周知し、**事象が発生する条件に該当する場合には、改善策を講じていただくよう促す**等の取組を進める。

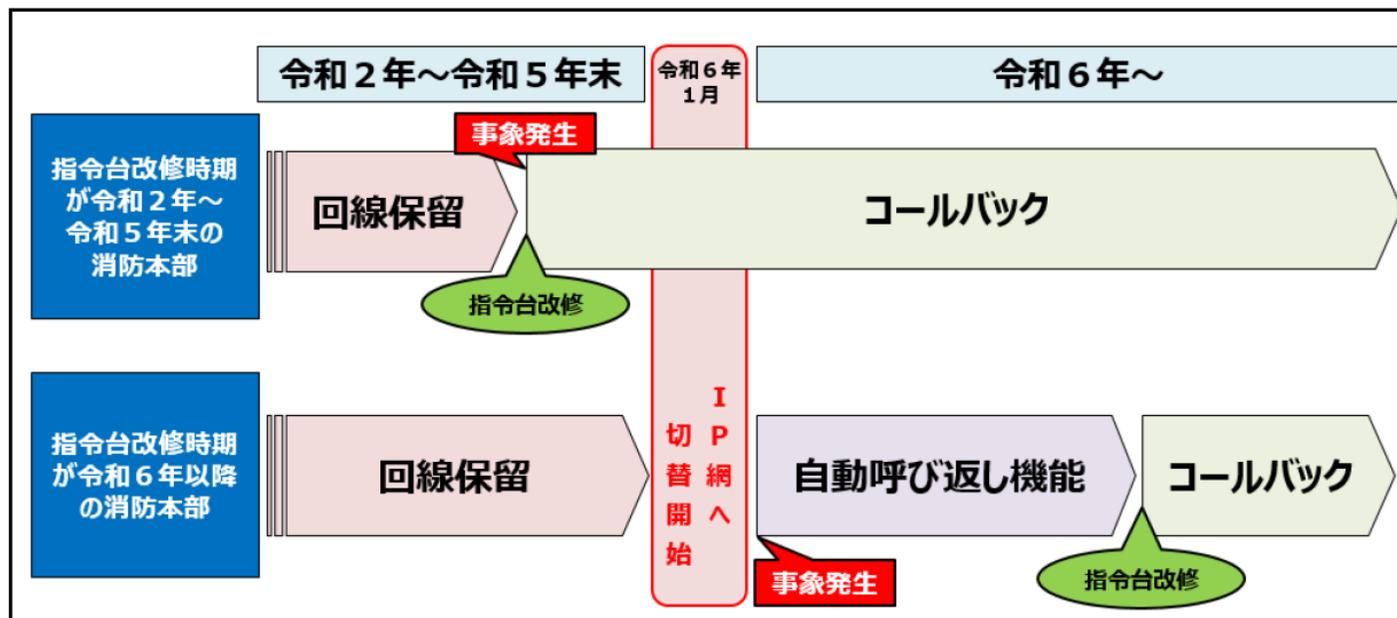
(2) 事象が発生する背景

これまでの固定電話網は、119番通報後に通報者が電話を切った場合でも通報者と再度通話ができるように、通報者が電話を切っても回線が保留され、指令台から逆信操作をすることにより、通報者と通話ができる仕組となっていたが、**I P 網では、この回線を保留する機能がなくなり、**通報者に電話を再度かけ直す（コールバックする）ことにより、通報者と再通話ができる仕組に変更されている。

(3) 発生する事象の概要

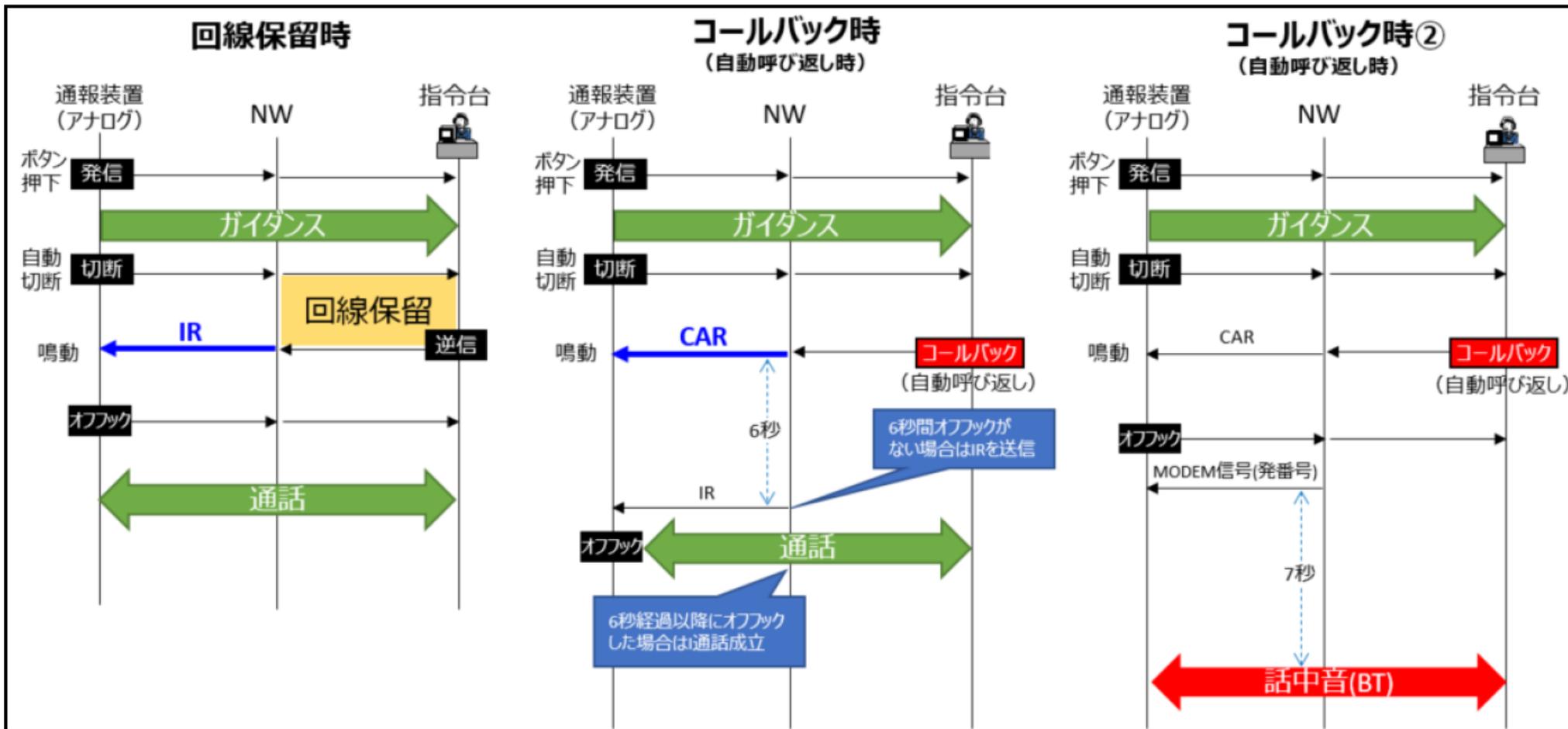
火災通報装置は、元々、回線保留機能を前提として製造されており、通報者と再通話ができる仕組が切り替わることにより、ナンバー・ディスプレイ等の契約をしている加入電話回線に接続する一部の火災通報装置から119番通報を行った場合において、消防機関からのコールバックを受けられないという事象が発生する。

(4) 事象が発生する時期



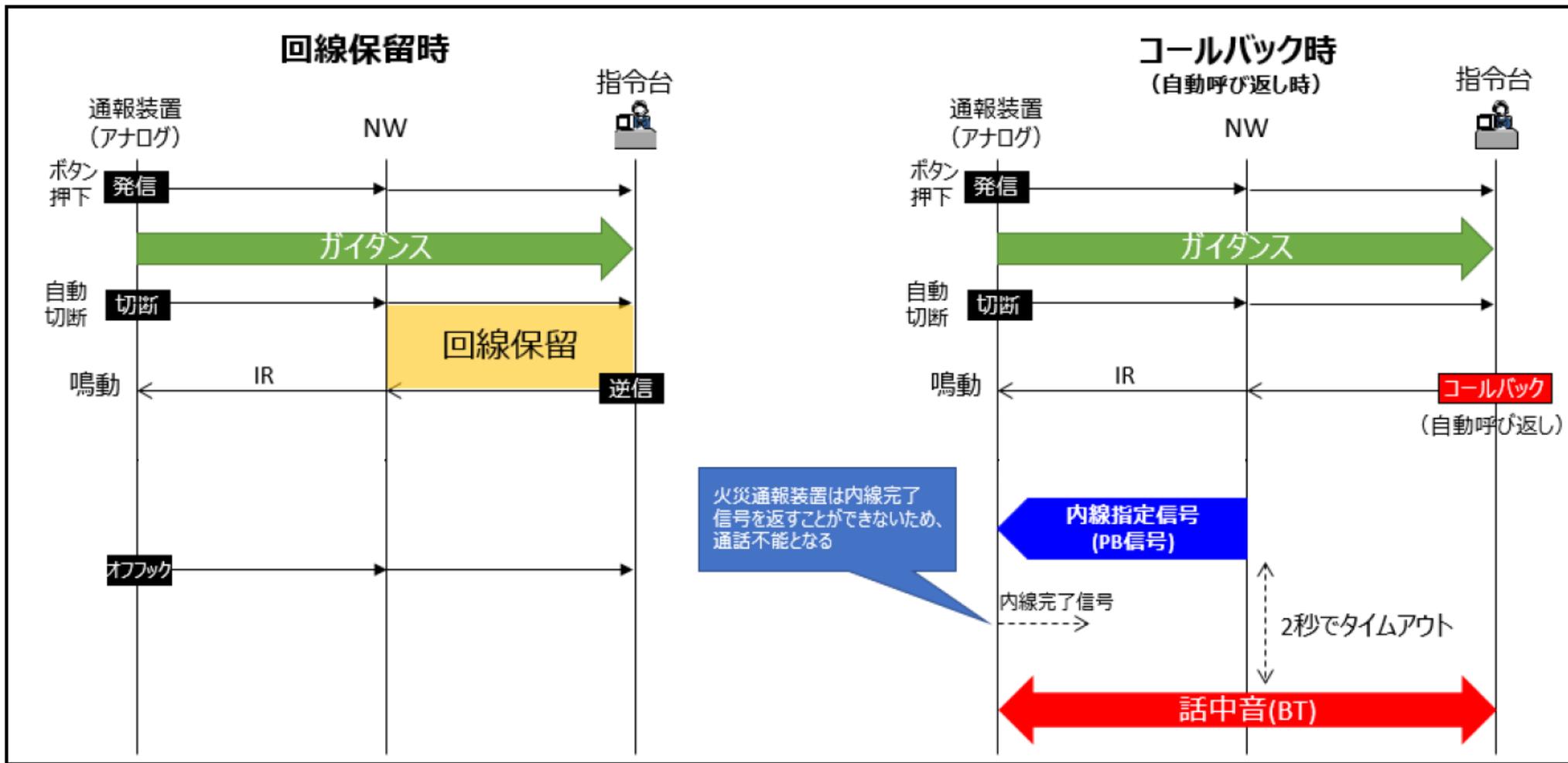
(5) 発生する事象の詳細

①事象1 (ナンバー・ディスプレイ契約、モデムダイヤルイン契約)



(5) 発生する事象の詳細

①事象2 (PBダイヤルイン契約)



(6) これらの事象が発生する条件

事象 1 については次のすべてに該当する場合、事象 2 については

①及び②に該当する場合に不具合が発生する。

- ① **ナンバー・ディスプレイ契約、モデムダイヤルイン契約又は P B ダイヤルイン契約**をしている
- ② 上記①の契約をしている**加入電話回線と火災通報装置を接続している回線が同一**である（共用している）
- ③ **火災通報装置が特定の型式に該当**する。事象が発生する可能性のある火災通報装置の型式については以下の U R L から確認できる

<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/landline.html>

(7) これらの事象の改善方法

事象 1 については、次のいずれかの措置を講じることにより、事象 2 については①又は②の措置を講じることにより事象が改善される。

- ① **ナンバー・ディスプレイ契約等の契約をやめる**
- ② **ナンバー・ディスプレイ契約等をしている加入電話回線と火災通報装置の回線を分ける**
- ③ **火災通報装置を C A R 信号に対応している機種に交換する**

(8) 本事象の周知及び改善の促進について

N T Tにおいて、以下のホームページやリーフレットにより、火災通報装置設置者に対して、事象の内容を周知し、改善策を講じるよう促すことを踏まえ、これらの資料を活用しつつ事象の内容の周知等に協力されたい。

【N T T 東日本】

https://www.ntt-east.co.jp/info/detail/191223_01.html



【N T T 西日本】

<https://www.ntt-west.co.jp/info/support/oshirase20191223.html>

